

«FLIP ver.7 シリーズ LAN 対応版用プログラム»



プロクト用 Hardware Key の ネットワーク接続確認の手順

FLIP コンソーシアム テクニカルサービス

✉ tech_info@flip.or.jp

1. はじめに

ネットワークの接続確認テストには、以下の物が必要です。

① テスト用の Hardware Key （プロテクトキー）



テスト用のプロテクトキーは、お客さまより動作確認の希望を受けてから、送付いたします。

② 接続テスト用プログラムセット



FLIP コンソーシアム HP 内の「ネットワークの接続確認」ページより「op_test_7lan.zip」をダウンロードしてください。

<op_test_7lan.zip 内のフォルダ>

1_接続テストセット（同一セグメント）

- ①「HASPUserSetup.exe」：Sentinel LDK（プロテクトキー）実行環境ドライバ インストーラ
- ②「i64HelloFlip7.exe」：テスト用プログラム（64bit プログラム）

2_接続テストセット（セグメント越え）

- ①「HASPUserSetup.exe」：Sentinel LDK（プロテクトキー）実行環境ドライバ インストーラ
- ②「i64HelloFlip7.exe」：テスト用プログラム（64bit プログラム）
- ③「hasp_rt.exe」：テスト用プログラムと同じディレクトリに配置
- ④「hasp_104313.ini」：サーバーアドレス指定用 ini ファイル

上記のテスト用プログラムは、以下の OS、CPU 環境下で動きます。サーバー（P2 参照）の OS は、以下の OS、CPU を満たしてなくても、Windows XP 以降の OS であれば動きますが、**サーバーがクライアントを兼ねる**場合には、以下の OS、CPU 環境を満たしている必要があります。

OS	Microsoft® Windows®10 以降 x 64 ビット版
CPU	Intel® 第 2 世代 Core™ i プロセッサ (Sandy Bridge) 以降
(推奨) メモリ	8GB 以上

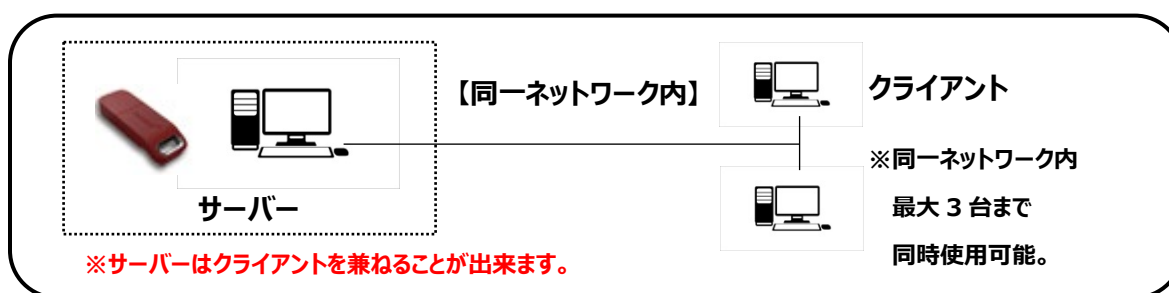
2. プロテクトキーと接続範囲について

一般社団法人 FLIP コンソーシアムからユーザー会員に使用を許諾されるソフトウェアは、Thales（（旧 Safenet, Inc.）の Sentinel HL NET キー（以下、プロテクトキー）により保護されています。

プロテクトキーを USB ポートに差し込んだパソコンを以下「サーバー」とし、サーバーと同一のネットワーク内（セグメント）にある合計 3 台までのパソコン（サーバー以外のパソコン）を、以下「クライアント」とします。

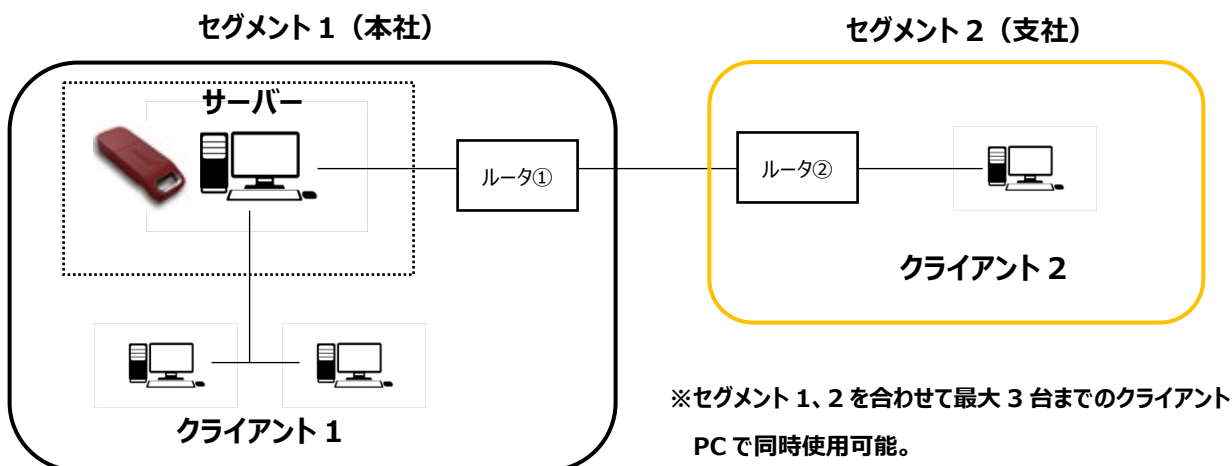
「サーバー」・・・プロテクトキーを USB ポートに差し込んだパソコン

「クライアント」・・・FLIP プログラムを実行するパソコン



なお、LAN（ルータ）を超えて（サブネット間を含む）、別の LAN にあるサーバーパソコンを認識することは技術的には可能ですが、お使いのルータやファイアウォールの設定等により接続出来ない場合があります。また、VPN の使用等により可能になる場合もありますが、VPN サーバーの設定法や御社のルータ、ファイアウォールの設定、IP アドレス、ネットワーク設定等に関するご質問については FLIP コンソーシアムではお答えできません。御社のネットワーク管理者とご相談の上、ネットワークの設定を行っていただき、その上でテスト用のプロテクトキーとプログラムを用いて動作確認を行ってください。

【セグメントを越えての接続例】



同一セグメント内の接続テストは 3. から、セグメントを越えての接続テストは 5. (P6) からをご参照ください。

3. 【同一セグメント内での動作確認】：テスト用プログラムのインストール

3.1 サーバー

サーバーには、HP よりダウンロードした「op_test_7lan.zip」を解凍し、「1_接続テストセット（同一セグメント）」フォルダ内の「HASPUserSetup.exe」を適当なフォルダにコピーの上、管理者権限にてインストールしてください。
インストール後、「i64HelloFlip7.exe」を適当なフォルダにコピーし、プロテクトキーを USB ポートに差し込みます。

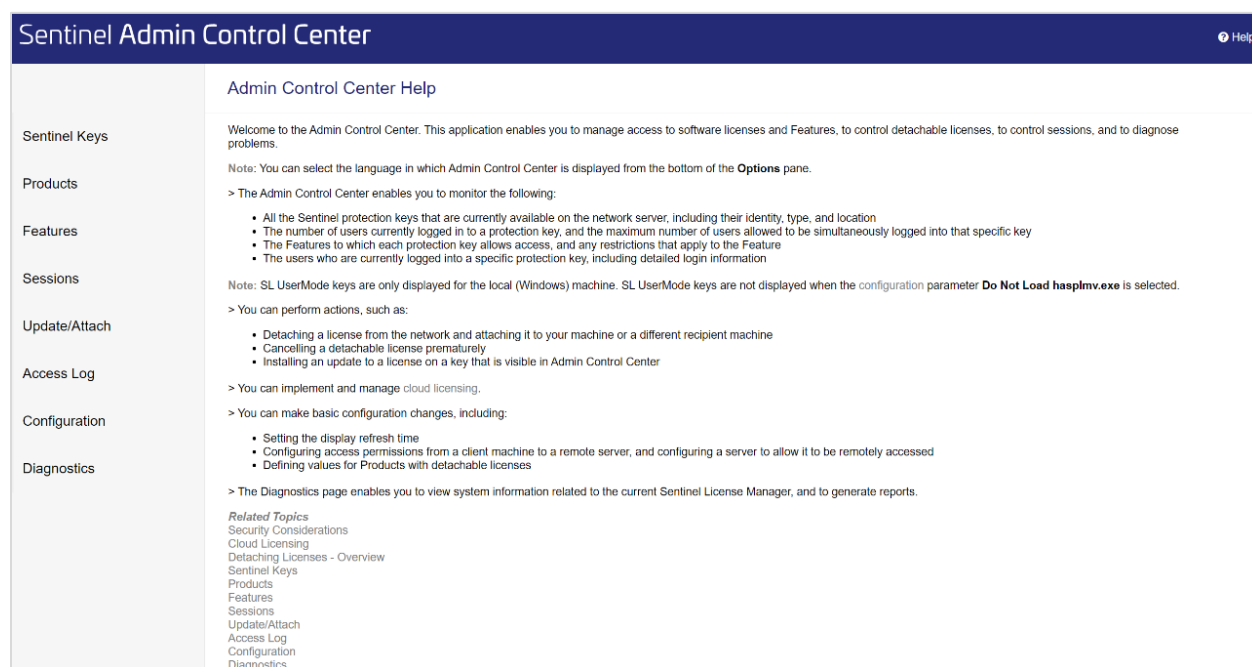
3.2 クライアント（最大 3 台まで）

クライアントを最大 3 台まで選び、「i64HelloFlip7.exe」を適当なフォルダにコピーしてください。（クライアントは、サーバーを兼ねていても構いません。）

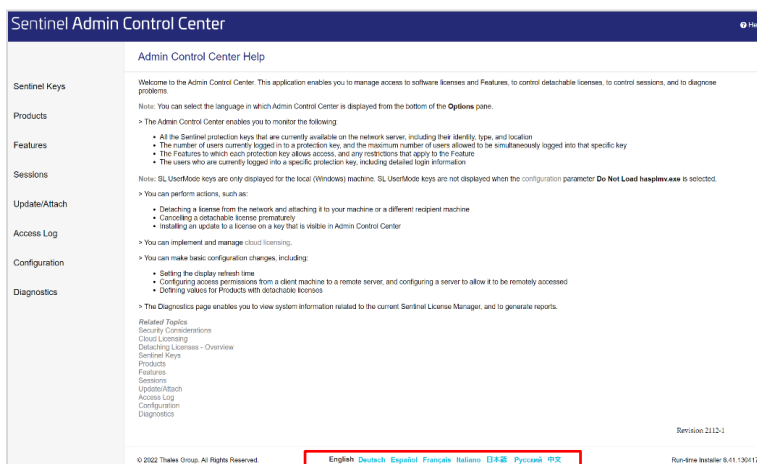
4. 【同一セグメント内での動作確認】：テスト

4.1 サーバーのテスト

①Sentinel LDK 実行環境ドライバをインストールしたサーバーの PC にてプロテクトキーを USB ポートに差し込みます。
ブラウザのアドレスフィールドに【 **http://localhost:1947** 】または【 **http://<PC 名または ip アドレス> : 1947** 】と入力し、Admin Control Center を開きます。



※Admin Control Center の表示を日本語に切り替えたい場合は、画面下のメニューより
“日本語” を選択すると切り替え可能です。



画面左にあるオプションバーから「Sentinel キー」を選択し、クリックします。

接続中のプロテクトキーについての詳細が現れますので、使用可能になっているか確認します。

Sentinel キー ホスト名: desktop-abdah00							
場所	ベンダ	キー ID	キータイプ	構成定義	バージョン	セッション	アクション
ローカル	104313 (104313)		新しい SL キーのために予約済み	SL	8.34		ダウンロード
ローカル	104313 (104313)	915179517	Sentinel HL Net 10	ドライバレス	4.54		プロダクト フィーチャ セッション 点滅オン C2V

- ②プロテクトキーが接続された状態で、「i64HelloFlip7.exe」をダブルクリックすると、テスト用プログラムが起動し、以下の画面が表示されれば成功です。OK と入力して、プログラムを終了させてください。



4.2 クライアントのテスト

①プロテクトキーがサーバーの USB ポートに差し込まれていることを確認します。



②サーバーのテストと同様に、クライアントにコピーした「i64HelloFlip7.exe」をダブルクリック等で起動します。
以下の画面がテストしたそれぞれのクライアントの画面に現れれば、テストは成功です。OK と入力して、プログラムを終了させてください。



<接続テストが正しく作動しない場合>

サーバー・クライアント間のネットワーク通信が確立されていることを ping コマンド等で確認してください。

ネットワークの接続確認後は、FLIP コンソーシアム事務局・テクニカルサービスまで・・・

☐ 接続テストの結果をご連絡ください。



接続テストの結果をテクニカルサービス (tech_info@flip.or.jp) までご連絡をお願いいたします。

☐ お送りしたテスト用プロテクトキーを返信用袋に入れていただき、宅急便にてご返送ください。

プロテクトキーは精密機器となりますので、「ワレモノ」扱いでご返送いただきますようお願いいたします。



セグメントを越えての接続テストは、以下の 5.～6.の手順をご覧ください。

5.【セグメントを越えての動作確認】：テスト用プログラムのインストール

5.1 サーバー

サーバーには、HP よりダウンロードした「op_test_7lan.zip」を解凍し、「2_接続テストセット（同一セグメント超え）」フォルダ内の「**HASPUserSetup.exe**」を適当なフォルダにコピーの上、管理者権限にてインストールしてください。インストール後、「**i64HelloFlip7.exe**」を適当なフォルダにコピーし、プロテクトキーを USB ポートに差し込みます。



5.2 クライアント（最大 3 台まで）

クライアントを最大 3 台まで選び、上記、サーバーと同じく、「**HASPUserSetup.exe**」を各クライアントマシンの適当なフォルダにコピーの上、管理者権限にてインストールしてください。

インストール後、「2_接続テストセット（同一セグメント超え）」フォルダ内の「hasp_104313.ini」ファイルをコピーし、クライアントマシンの以下のディレクトリに配置してください。（※サーバーを兼ねているクライアントの場合は、この作業は必要ありません。）なお、「**SafeNet Sentinel**」および「**Sentinel LDK**」フォルダが、以下のディレクトリに見つからない場合は、お客様にて作成してください。

C:\Users¥[ユーザ名]\¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK¥hasp_104313.ini

次に、「hasp_104313.ini」ファイルを開き、「serveraddr=」の後にサーバーマシンの IP アドレスを入力してください。
(例： serveraddr = xx.xx.xx.xx)

また、「2_接続テストセット（同一セグメント超え）」フォルダ内の「**i64HelloFlip7.exe**」および「**hasp_rt.exe**」をクライアントマシンの適当なフォルダにコピーしてください。

(※「i64HelloFlip7.exe」と「hasp_rt.exe」は同じディレクトリに配置してください。)

6.【セグメントを超えての動作確認】：テスト

6.1 サーバーのテスト

同一セグメント内での動作確認（P3～）の「**4.1.サーバーのテスト**」と同じ手順でテストを行ってください。

6.2 クライアントのテスト

①プロテクトキーがサーバーの USB ポートに差し込まれていることを確認します。

②各クライアントマシンの以下のディレクトリにサーバーマシンの IP アドレスを入力済みの「**hasp_104313.ini**」が配置されていることを確認してください。

C:\Users¥[ユーザ名]¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK¥**hasp_104313.ini**

③テスト用プログラム「**i64HelloFlip7.exe**」と同じディレクトリに「**hasp_rt.exe**」が配置されていることを確認します。

④サーバーのテストと同様に「**i64HelloFlip7.exe**」をダブルクリック等で起動し、以下の画面がテストしたそれぞれのクライアントの画面に現れれば、テストは成功です。OK と入力して、プログラムを終了させてください。



<接続テストが正しく作動しない場合>

サーバー・クライアント間のネットワーク通信が確立されていることを ping コマンド等で確認してください。

ネットワークの接続確認後は、FLIP コンソーシアム事務局・テクニカルサービスまで・・・

☐ 接続テストの結果をご連絡ください。



接続テストの結果をテクニカルサービス（tech_info@flip.or.jp）までご連絡をお願いいたします。

☐ お送りしたプロテクトキーを返信用袋に入れていただき、宅急便にてご返送ください。

プロテクトキーは精密機器となりますので、「ワレモノ」扱いでご返送いただきますようお願いいたします。

